

まえがき

- 一 本書は、明治五年の学制公布以来、百五十年間の教育の発展の跡を、制度を中心として概述したもので、記述編と資料編の二部から成っている。
- 一 記述編は、第一編（明治五年～昭和二十年）、第二編（昭和二十年～昭和四十六年）、第三編（昭和四十六年～平成四年）及び第四編（平成四年～令和四年）の四つに分かれている。なお、第四編の記述内容の終期は、原則として令和四年三月とした。
- 一 本書の記述は、引用の章句・固有名詞その他やむを得ないものを除き、常用漢字及び現代仮名遣いによつた。
- 一 第一編から第三編においては、当時の時代背景を尊重し、できるだけ旧来の語句や表現をそのまま用いた。
- 一 統計に関する事項は、資料編の「教育統計」の項に譲り、記述編での記載はできるだけ省略した。
- 一 資料編は、(一) 現行の主要関係法律一覧、(二) 関係公布法律の概要、(三) 主な審議会等の諮問・答申等の一覧、(四) 文部科学省の組織の変遷等、(五) 学校系統図、(六) 教育統計、(七) 年表から成っており、最近三十年間のものを中心に収録した。
- 一 本書の背及び扉の題字は永岡桂子文部科学大臣の筆になるものである。
- 一 本書の執筆事務等については編集後記に記した。